

二〇一五年九月一四日

相聞の碑に佇めば秋の声
釣人と吳越同舟島遍路
澄む水の底に日の斑の小躍りす
檜の森風にうべなひ黄落す
グランドのフエンス隙なく薦葛
丘にたつ鹿の子夕日に影法師
秋天へ千手を翳す御神木
ビオトープへと道とれば昼の虫
む わかば
康 康 澄 子
康 康 澄 子
わかば

定例WEB句会みのる選